



もうすぐ春

校長 菅原 桂吾

2月も間もなく終わろうとしております。あれほど降り積もった雪も、やっと邪魔にならないほどにその存在感を消しつつあります。本校各校舎、分教室の卒業式まで、あと半月ほどとなりました。今年度の卒業式も、昨年度に続き、出席者を卒業生、保護者、教職員に限定して実施することといたしました。在校生はもとより、地域の方々、関係機関等の来賓各位に、卒業生の晴れの門出を直に祝ってもらう機会を失することとなり、誠に残念でなりません。それでも、それぞれの課程を修了し、次のステージに向かう卒業生の前途を祝す大切な儀式であり、一人一人の心に残る思い出の一頁にふさわしい場・時間とするべく、教職員一同、準備を進めてまいります。

さて、表題の後に「ですね」を加えると、相応の年代諸氏には、懐かしいメロディとともに思い浮かぶ歌の一節になりますが、季節は、確実に「春」への移ろいを進めています。春をなぜ「はる」と呼ぶのか？ その語源には、諸説あって、「万物発る（はる）頃」というのが有力で、他にも、「草木の芽が張る（はる）」「気候の晴る（はる）」「田畑を墾る（はる）」などがあるようです。同訓異義語が多い日本語ならではの複層的な意味、語感を持つ言葉の一つであり、また、現代の我々とは違い、生の自然と対話し、時に対峙しながらの生活を送っていた時代の日本人の、春への思いを永く伝えてきた言葉でもあります。

新たな学びの場、新たな生活の場へと踏み出す本校卒業生の幸福を願いながら、我々もまた、もうすぐ巡り訪れる春を穏やかに迎え、自分をよりよくしたいと願っている人のため、自分を必要としてくれる人のため、そして自分自身のためにも、心を新たに、仕事に精励してまいりたいと思います。

【お知らせ】

岩手県立総合教育センターの刊行物「教育研究岩手」第108号（令和2年12月11日発行）におきまして、「新しい時代を拓く子どもたちの主体的な学びの充実を図るカリキュラム・マネジメント」～学校段階等間の接続の視点に立って育む資質・能力～という特集が組まれました。本校の教育活動に関してまとめた原稿が掲載されておりますのでご紹介いたします。

岩手県立総合教育センターホームページ内アドレス

http://www1.iwate-ed.jp/kankou/kk_iwate/index.html





山目校舎小学部

なのはな学級「そり教室」



例年、なのはな学級全員で行っている「そり教室」ですが、今年は3密を避けるため、高学年の11名は1月29日(金)に、低学年の9名は2月5日(金)に、学年団に分かれて「まつるバスノーランド」へ行きました。今シーズンは大雪のおかげで、ゲレンデは一面の銀世界です。当日はあいにくの荒れ模様で、ときおり吹きつける風が強かったのですが、子どもたちは、吹雪に負けず、長いコースで元気いっぱいそり滑りを楽しみました。低学年は、後半は「健康の森」の体育館も利用し、たくさん身体を動かしてきました。昼食は、広い座敷の休憩室で、おうちの方が準備してくれた美味しいお弁当を食べ、みんな大満足でした。



わかば学級「まめまき会」

冬休み明けから、わかば3組に6年生の転入生を迎え、わかば学級の在籍児童は8名に増えました。さて、今年の節分は2月2日でしたね。「鬼はそと～！疫病退散～！福はうち～！」日本中、いや世界中の人々が心から願ったのではないのでしょうか。



わかば学級の子どもたちは、2月4日(木)に豆まき会を行いました。低学年はおうちの方にご協力いただき、高学年は自分で考えて、追い払いたい「心の中の鬼」を書き、友達の前で発表しました。豆まき会恒例、本物の鬼が登場すると、怖くて泣いてしまう子、おもしろがって笑う子、平然として豆を投げる子など、表情は様々でしたが、どの子も新学年への春に向かって一歩ずつ成長している様子がみられました。



山目校舎 中学部「おたのしみ会」

12月18日(金)は、中学部のおたのしみ会がありました。本校舎体育館を会場として、本校舎と山目校舎の生徒が集まりました。生徒会長あいさつの後、それぞれのグループからの発表です。日頃から磨き上げてきたすばらしいものばかりでした。みんなわくわくしながら本校舎の発表を見ました。山目校舎中学部は1・2年合同で「アメージング山目ファミリー」というグループ名で出演しました。全員で「アメージンググレイス」の曲をトーンチャイムで演奏しました。演奏の後にはみんなで手作りのフォーチュンカードを本校舎の皆さんに配り、盛り上がりました。始まる前は、緊張した様子の生徒も、発表が終わった後に大きな拍手をもらうことができ、嬉しかったようです。本校舎中学部のみなさんと、とても楽しい時間を過ごすことができました。



トーンチャイムの演奏にたくさんの拍手をもらいました♪
宝くじ抽選会もありました。何が当たるかな…ドキドキわくわく♪

あすなろ分教室「はつもうで」

毎年、冬休み明けは「あすなろ垂酢名呂神社」を参拝し健康と学業成就を祈願しています。

お賽銭を入れておみくじを引き、今年の抱負を絵馬に記しました。

「今年はコロナが収束していろんな学習が楽しめますように！」「行事にお客さんが、たくさん来ますように！」「大好きな、あの人に会えますように！」



千厩分教室小学部 <ハピきら学級>

1月19日、2月4日、9日各学級毎千小児童と一緒にスケート教室に参加しました。1年生ははじめてのスケートにドキドキ、2年生から6年生の児童も怖くて職員にしがみついていた児童や華麗な滑り?を披露する児童、冬の活動を満喫しました。

…その頃…訪問学級の2名は…鬼の面をつくったり、鬼を倒したり、節分行事を行いました。



千厩分教室中学部 ございや!!みなトモ 学校茶道

1月20日(水)年間をとおして8回行ってきた学校茶道のまとめをしました。講師の先生から教わった「やさしいきもち」でお茶を点て、安らかな時間を過ごすことができました。全員に奨励賞が授与され、誇らしげに今年のお茶会を締めくくりました。



御礼



有限会社光成工業様(一関市萩荘)から図書の寄贈を頂きました。

また、本校におきまして、ベルマークを回収する活動の際に、株式会社フタバ平泉様(西磐井郡平泉町)、千厩小学校様より、ベルマーク回収へのご協力を頂きました。

今年度のベルマークを本日集計しました所、5,254点でした。

ご寄付・ご協力、誠にありがとうございました!

表彰関係のお知らせ



第13回“夢・未来”子ども文化祭展示部門 入賞



(書道の部) 本校舎 小学部 [redacted]さん

本校舎 中学部 [redacted]さん

(絵画の部) 千厩分教室 小学部 [redacted]さん

山目校舎 中学部 [redacted]さん



一関市学校給食レシピコンテスト 2020 入賞

千厩分教室 中学部 [redacted]さん



第39回肢体不自由児・者の美術展・デジタル写真展

(書道の部) 日本肢体不自由児協会賞 ならびに



(写真の部) 銅賞 本校舎 高等部 [redacted]さん

(写真の部) 銀賞 本校舎 高等部 [redacted]さん

おめでとうございます!

学校評議員会

今年度2回目の学校評議員会が4名の評議員の方々にご出席頂き、2月3日(水)行われました。

学校からは今年度の教育活動について、各学部・分教室の様子、進路や相談支援状況、学校評価等について報告しました。コミュニティ・スクール構想については、令和4年度の設置を目指し、他校での取り組みに関する情報収集をすること、評議員の方々からのご意見を伺いながら進めることを確認しました。

学校評議員の皆様からのご提言として「この地域は環境に恵まれている。引き続き、充実した教育活動が展開されることを願っている」「学習の成果を、外部の方に認めていただくチャンスとして幼稚園を活用してください」「コロナ禍の中、見えない敵への対策、大変だったことと思う。できることに細心の注意、対応をとりながら、いつも子どもたち目線で取り組まれてきたことと感ずることができた。先生方は、本当によくやっている」など、ありがたい励ましのお声を頂きました。

今後とも、地域の方々や関係機関との連携を大切にしながら、丁寧に学習活動を積み重ねて参ります。

